

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

あの手 この手

2016
2月号



▲久田緑地くらぶの味噌づくり
大和の森・公園シリーズ⑩⇒4面

あの手この手のマークの間のSはsolution(解決)のSです。

第103号 2016年2月10日発行 大和市民活動センター[拠点やまと]



「世界のひまわり」 深見小学校3年 武田優莉亜さん

今年度の表紙は「やまと国際フレンドクラブ(IFC)」主催の
＜やまと国際アートフェスタ＞入賞作品を掲載しています。
今号は、昨年11月に開催された第8回のアートフェスタで
「やまと国際フレンドクラブ賞」を受賞した作品です。

武田優莉亜さんのメッセージ

「夏のひまわりを見て、描きたいと思い、ちょっと工夫して
書いてみました。いろいろな国がひまわりのように明るく
平和にすごせるようにと思いながら描きました。最後まで
がんばって、今、本当に良かったと思います。」

会議室の優先予約を開始。

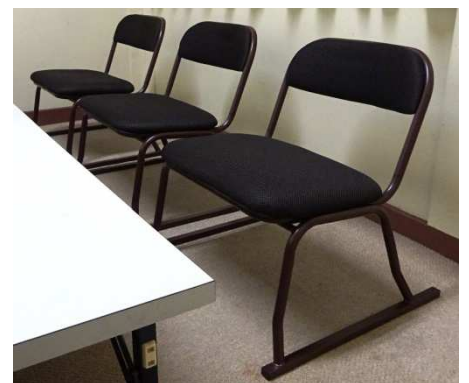
補助金を受けている事業など公共性・公益性の高い事業を
対象に、会議室の年間優先予約を始めることにいたしました。
早めにPRしたいイベントや年間を通じての定例講座
などにご利用ください。ご希望の団体は、センターにある
指定の申請書に記入してご提出ください。月2回ある会議
で審議のうえお返事します。実際に優先予約をしてご利用
になった団体には、終了後、事業報告書・会計報告書など
の提出もお願いいたします。

センター運営スタッフを募集中。

当センターの運営スタッフを募集中です。今後の市民活動
の発展のために熱意のある方を探しています。詳細は当セ
ンター（電話046-260-2586）までお問い合わせください。

多目的ルームにローチェアを導入。

ご要望のあったローチェアが多目的ルームに入りました。
数は6脚、座面高は約30cm。昨年、ホワイトボードを設置
しましたが、今回
壁時計も設置。会
議室が使えないと
きのほか、少人数
での会議でもお気
軽にご利用くださ
い。座布団も10枚
あり、もちろん従
来通りの使い方も
できます。1時間
100円です。



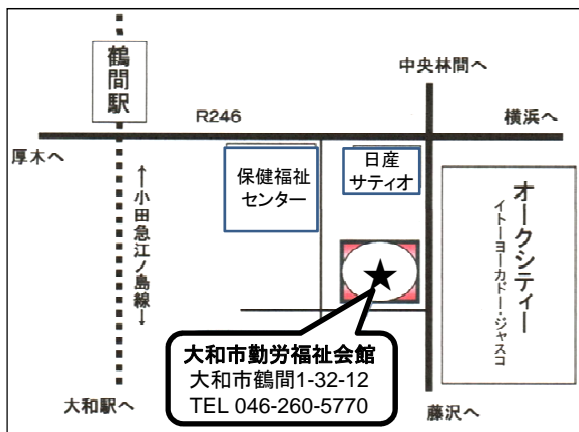
したいことが見つかる！仲間が増える！交流も深まる！ 3月13日(日)に第3回「まちづくりワークショップ」&交流会開催！

「何か始めたいけれど、何をしたいのかわからない」「地域でもっと楽しいことができないか」などなど
そんな想いを形にするためのワークショップを3回のシリーズで開催中です。もちろん今回初参加もOK。

最終回の今回は、参加者の提案による議題をテーマに学校の時間割のような表をつくり、希望する分科会に何回か参加できる「パズルミーティング」を行います。すでに活動をされている方の参加・提案も大歓迎です。

たとえば、こんな↓感じです。

	A	B	C
1R	高齢者と子どもが 触れ合える場を！	「どこでも図書館」を 実現したい！	地産地消を もっと押し進めたい！
2R	もっと外国籍の人と 交流したい！	途上国の人たちを もっと支援したい！	もっと安心・安全な 住みやすい街にしたい！
3R	親子でくつろげる カフェを作りたい！	新しい地域の 特産品を開発したい！	*さあ、あなたの 「～したい」は…？！



ファシリテーターはソーシャルプランナーの沼田真一さん。今回は、レギュラーコーヒーを飲み、お菓子も食べながら、例年行っている「登録団体交流会」も兼ねて開催します。また、終了後は、会場を居酒屋に変え、希望者で懇親会も行います。盛り上がった話の続きをたっぷりとして、是非新たな活動へとつなげてください。

日時：3月13日(日) 13:30~16:30
会場：大和市勤労福祉会館 3階ホール(左地図参照)
会費：無料(終了後の懇親会は実費割り勘)
申込：3月11日(金)までに下記へ(当日参加もOK)
主催：大和市民活動センター
TEL：046-260-2586 FAX：046-205-5788
E-mail：yamato@ar.wakwak.com

YAMATO イラストレーションデザインコンペ 市内から4人入選！

イラストレーターを目指す若者の応援と、大和市をイラストあふれるまちに変えていくことを目的としたこのコンペも5回目を数えます。今回のテーマは「空」。全国から269件の応募があり、2月2~7日に入選作品展がイオンホールで開催されました。入選48点中、右の4点が大和市在住・在学者の作品でした。



左から『これからおたのしみ』飯干真理(主婦)・『空に抱かれて』金光遥香(町田デザイン専門学校)・『金魚も飛べるんだよ』小田百絵(大和南高校)・『ひがし茶屋街と空』西塚友美(柏木学園高等学校)

お気軽に！ 定例相談日

- ◆市民活動相談 = 2月22日(月)・3月14・28日(月) ※毎月第2・4月曜の10~17時
 - ◆ボランティア相談 = 2月27日(土)・3月12・26日(土) ※毎月第2・4土曜の10~17時
 - ◆パソコン相談 = 2月23日(火)・3月8・22日(火) ※毎月第2・4火曜の14~17時
- ※予約不要ですが、事前に電話予約していただいた方が、お待たせすることもなく確実です。

ただいまボランティア募集中！

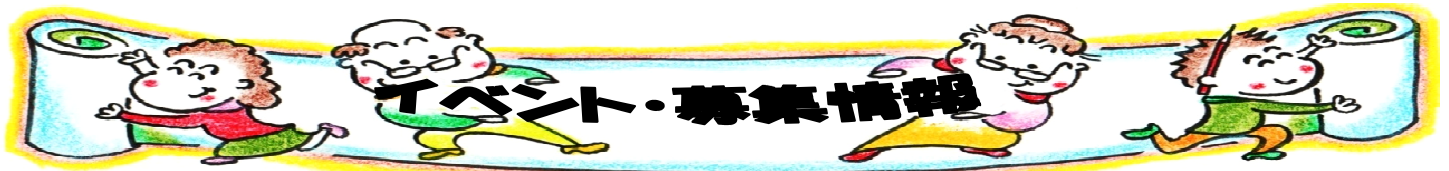
ご活用ください！冊子『登録団体ボランティア情報』

2月15日(月)には
高座渋谷のイオンに
出張します！

大和市民活動センターでは『登録団体ボランティア情報』という冊子を発行しています。保健・医療・福祉分野は16、国際協力分野7、学術・文化・芸術・スポーツ分野7など、計62団体の情報が掲載されています。その多くが常時ボランティアを募集していますので、何かボランティアをやりたい方は、是非、手にとってみてください。当センターで無料でお配りしています。なお、2月15日(月)の10～14時には、イオン大和店(高座渋谷)で『出張！ボランティア総合案内所』を開設。ボランティア相談コーナーを設置するほか、

下記の団体については最新の詳細募集情報もお伝えします。場所は、2階専門店街側のエスカレーター横です。

- ・社会福祉法人 やまねっと 大和泉の森作業所
- ・(特非) サポートハウス ワン・ピース
- ・パン工房 麦の香り
- ・デイサービス ハッピー鶴間
- ・子育て支援 やまと虹の色
- ・アダプティブテクノロジー
- ・引地川水とみどりの会
- ・チーム ピース チャレンジャー
- ・大和市芸術文化振興会
- ・サウンドテーブルテニスクラブ



Ed.(エド)ベンチャー教育講演会 「グローバリズムの果て」を問う

今や世界を覆いつくそうとしている新自由主義。主役は株式会社。企業は国家を従え膨張し、国民は使い捨て可能な労働力にされ、消費者として踊らされる。私たちは、いつかもたらされるという恩恵をまだ信じ続けるのか、それとも新たな意志を模索するのか。新たな社会の姿を想像してみたい。

日時：2月21日(日) 13:30～16:30 (開場13:00)
会場：大和市勤労福祉会館3Fホール
講師：平川克美氏(文筆家・事業家)
会費：1000円(学生500円、高校生以下無料)
主催・申込：NPO法人 教育支援グループ Ed.ベンチャー
TEL&FAX 046-272-8980
MAIL toiwase@edventure.jp

第11回すてきな子育て 「自分が好きへの子育て」

毎年この時期に開催している「すてきな子育て」講演会。11回目となる今年は、電話育児相談員に13年間従事し、NPO法人子育てひろばほわほわ顧問で「子育て相談室いっぼ、いっぼ」を主宰している永瀬春美氏からお話をうかがいます。きっと“気づき”と“元気”が持ち帰れます。

日時：2月27日(土) 13:00～(開場12:45)
会場：イオンモール大和3Fイオンホール
講師：永瀬春美氏(看護師・心理カウンセラー)
会費：無料
主催・申込：NPO法人地域家族しんちゃんハウス
TEL&FAX 046-275-7955
MAIL info@shinchanhouse.com

目指せ！2020！ スポーツボランティアってなに？

2020年の東京五輪に向けスポーツボランティアへの関心が高まるなか、『スポーツボランティアの現状』と題し専門家に、『スポーツボランティア、うれし！たのし！困った！』と題し支援専門のNPOの方に講演していただきます。

日時：2月28日(日) 14:00～16:00
会場：大和スポーツセンター体育会館 会議室(100名)
講師：(公財)笹川スポーツ財団スポーツ政策研究所
副主任研究員 工藤保子氏
NPO法人うつくしまスפורツルーターズ
事務局長 齋藤道子氏
会費：無料(2月22日までに要電話予約/平日のみ)
主催・申込：大和市スポーツ課 TEL 046-260-5763

養成講座全20回／受講者募集！参加費無料！ 日本語ボランティア教師になりませんか？

大和市内には5800名を超える外国籍市民が暮しています。そうした人が気軽に日本語を学べる地域の日本語教室は、直接日本人と触れ合い、新しい友達づくりや生活に必要な情報を入手できる貴重な場。この講座で、日本語指導法の基礎やボランティアとしての在り方などを学びませんか？

日程：3月2日～7月27日までの毎水曜日 18:30～20:30
会場：大和市民間学習センター2F会議室(南林間駅より8分)
講師：にほんごの会企業組合 宿谷和子氏ほか
対象：市内でボランティア活動ができる高校生以上の方
主催：申込：(公財)大和市国際化協会
TEL 046-260-5126 FAX 046-260-5127
MAIL pal@yamato-kokusai.or.jp

第22回市民環境活動報告会 明日のために担い手ふやそう！

「ダンボール紙で作る震災用簡易トイレ」「防災を取り入れた公園環境活動」「相模原の花ごよみ」など市民による環境保全活動の実践例が発表されます。その後は発表者とのお話し会「環境活動と防災」「地域での活動」「人材育成の実践」の3テーマに分かれ、興味のあるものに自由に参加できます。

日時：3月9日(水) 12:15～16:30
会場：かながわ県民センター 2F大ホール(横浜駅西口)
内容：事例発表(6例)後、発表者とのお話し会(3分科会)
会費：無料(申込不要・直接会場へ)
主催：第22回市民環境活動報告会実行委員会
MAIL shigeo.tt.taguchi@gmail.com

2月2日(火)／快晴

拡張型心筋症のだいちゃん(1歳)を救うための募金活動をしている石井浩一さんが来館。コロンビア大学附属病院での心臓移植手術を待つだいちゃんは、小児用補助人工心臓で命をつないでいるそうです。募金目標は3億2000万円。移植手術に2億4000万円、チャーター機での移動に6000万円かかるとのこと。何とかだいちゃんの命を守るべく、みなさんとともに温かい心をだいちゃんに届けましょう。「わかるような歳になったら、なぜ今生きているのかを必ず言って聞かせ、社会のためになるような人間に育てます」－これはお父さんの言葉です。

「センター」の
ある日ある時



★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★

★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★

＜出演しました！＞

録音CDが大和市民活動センターにあります。

第255回◆1月5日放送分

拠点やまと

～『あったらいいな。ないなら自分たちで』～

新年1回目の放送は、大和市民活動センターの管理・運営を担っている「拠点やまと」と、市の担当課である市民活動課が出演。200回記念で出演したとき以来です。センターは2名が常駐する形で7名のスタッフで回っていますが男性は2名だけ。この日はその2名に市の松原さんを加えた男性陣での出演です。ぎっくり腰で正月は文字通り寝正月だった松原さん。2月15日に高座渋谷のイオンで開催の出張ボランティア総合案内所をPR。望月さんからは「2004年の開館以来11万人が来館し、会議室は6000回、印刷機も5000回も利用されています」と実績を紹介。年末大掃除は、毎年スタッフだけでなく利用者も多数参加し、これも大和市の市民活動ならではのコメントも。ジョニーさんからは「市民活動といっても特別な人が特別なことをしている訳ではなく『あったらいいな。ないなら自分たちで』という話ですよ」とまとめていただきました。

第256回◆1月19日放送分

一般社団法人 公益アシスト

～「かゆいところに手が届く活動」をサポート～

日常の経理事務など誰にも相談できず困っている人は多いもの。そういう人をサポートするために県内の税理士が集まり設立したのが公益アシストです。「NPO法人の決算書は数字で書いた事業報告書なんです」と代表理事の本郷さん。非営利団体が活発に活動していくには、市民や社会の理解を得て、その力を巻き込みながら育っていくことが必要です。そのためには、適正な会計に基づく決算などの情報公開が不可欠。「行政が出来るのは最大公約数的な事業で、心臓から大動脈に血液を流す役割。これに対し毛細血管に相当するのが民間の非営利団体。市民のみなさんのかゆいところに手が届くような活動をしている訳です。地域に元気な非営利団体が増えれば、私たちの生活はもっと暮らしやすくなり、公益アシストはそのためのお手伝いをしたいと考えています。」と福永さん。NPO法人、社団・財団など設立したい方も気軽に相談してみてください。

＜2月の出演団体＞

※出演希望の団体を募集中！ 詳しくは当センターまで。

第257回◆2月2日放送

カッタスタジオみどり

店の人が講師になる「まちゼミ」に参加して、外国籍の人たちに振袖や七五三のお祝い着を着せてあげて、日本文化を味わってもらいながら交流を深めます。

第258回◆2月16日放送

神奈川探龍倶楽部

埋もれていた観光資源として寺社に木彫りの龍があることを発見。ご朱印帳をつくり「大和十龍めぐり」や「鎌倉八恋龍めぐり」などの企画を進めています。

大和市の森・公園シリーズ／第11回

市内上和田の東部に、細く南北1キロにわたり広がる久田(くでん)緑地。中央を中原街道が横切り、車中からでも緑地の高いけやきが目をひきます。ここは1985年にかながわのナショナル・トラスト2号緑地に指定され、2003年には久田緑地くらぶが立ち上がりました。緑地の竹林など手入れをしながら、地権者である農家の小川さん・杉崎さんの援助を受け、里山の暮らしを再現する活動を行っています。取材したこの日は、3日連続の味噌づくりの初日。1年前、2年前に仕込んだ味噌樽を小川さん宅の蔵から出しみんなで分け、今年のために樽をあけます。収穫しておいた大豆を洗い水につけ、翌日には茹で、3日目に樽に仕込むのです。これに限らずうどんづく



り・そば打ち・もちつきと、材料はすべて種を育てるところからやっているのです。題して「里山暮らしの学校」。他の時期には野菜・たくあん・梅ジャムなどもつくっています。以前は、竹林を活かし竹炭もつくっていましたが、煙への苦情から現在は休止中。それでも市内でこれだけの里山活動を長年続けているのは驚きを通り越して感動です。ただ、会の悩みは高齢化。代表の品田さんは「より若い会員を迎え新しい企画もしたい」と意欲的でした。

編集後記

先日、県内の環境活動団体の連携会議に顔を出してきましたが、活動歴10年前後の団体が多く、その大半が高齢化が課題となっているようでした。久田緑地くらぶも当センターも然り。若くはなくとも「より」若い人の活躍が切に望まれるところです。いい働きかけ方ありませんか？(と)

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手この手」第103号 発行日:2016年2月10日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館・月～土 9:00～18:00>
〒242-0021 大和市中央 1-5-1 (大和駅南口より徒歩2分)
※祝日も9:00～18:00で開館しています。

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokyoten.com/